

平成29年度第1回小牧市スポーツ推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成30年2月19日(月)
午後3時～午後4時20分
- 2 開催場所 小牧市役所 東庁舎5階 大会議室
- 3 出席者 会長 長尾 英俊 (公財)小牧市体育協会副会長
委員 花井 忠征 中部大学教授
委員 黒田 真二 名古屋造形大学講師
委員 舟橋 巧 小牧南スポーツクラブ役員
委員 宮崎 加代 小牧市体操連盟理事
委員 松浦 昌美 市民公募委員
委員 田中 雅之 市民公募委員
- 4 説明のため出席した事務局員
(教育委員会事務局)
教育長 安藤 和憲 教育部長 大野 成尚
教育部次長 高木 大作 スポーツ推進課長 武市 礼子
スポーツ推進係長 長谷川 潤治
スポーツ推進係主任 日比野 豊

(小牧市体育協会)
事務局長 井上 武 事業係長 青山 寿彦
- 5 傍聴者 1名
- 6 会議の内容
(1) 報告事項
小牧市教育振興基本計画について
(2) 議事
議題第1号 平成29年度教育委員会点検評価シートについて
(スポーツ推進課分)
(3) 連絡事項
報告第1号 平成30年度社会体育事業実施計画(案)について
報告第2号 平成30年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)について
- 7 会議の資料
(1) 平成29年度教育委員会点検評価シートについて(スポーツ推進課分)
(2) 平成30年度社会体育事業実施計画(案)について
(3) 平成30年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)について

8 議事内容

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

平成29年度第1回小牧市スポーツ推進審議会を開催いたします。

本日の会議は、小牧市審議会等の会議の公開に関する指針に基づき、公開として
います。本日の傍聴人は1名です。また、中川委員、舟橋孝司委員、杉田委員は欠
席です。本日は、委員7名の出席でありますので、規定により会議は成立しており
ます。それでは、教育長から挨拶を申し上げます。

[安藤教育長]

大変お忙しい中、本審議会にご参加いただきまして、大変ありがとうございます。
平成29年4月には小牧市教育振興基本計画が作成され、今後10年間で実
施していく施策を定めました。本日は、スポーツに関する3つの施策の点検評価
をしていただきますので、よろしくお願いいたします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

それでは、長尾会長よりご挨拶をいただきます。

[長尾会長]

小牧市教育振興基本計画は既に動き始めていますので、小牧市民のスポーツ実
施に向けた施策を評価していきます。この会議を有意義なものにしたいと思います
ので、よろしくお願いいたします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

次に、議事録の署名については、舟橋巧委員にお願いしたいと思いますので、よ
ろしくお願いします。

続きまして、次第2の報告事項に移ります。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(報告事項について、資料に基づき概要を説明)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

小牧市教育振興基本計画の内容は、議事と関連がありますので、後ほどご発言
をお願いします。

次第3の議事に移ります。議事の進行は、規定により会長が会務を総理するとな
っていますので、長尾会長からよろしくお願いいたします。

[長尾会長]

議題第1号「平成29年度教育委員会 点検評価シートについて」を議題としま
す。事務局から説明をお願いします。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

(議題第1号、資料に基づき概要を説明)

[長尾会長]

今回の審議会でもいただいた意見を基に、市の評価委員会で点検評価シートの意見
を作成します。始めに、「市民スポーツ大会の開催」の点検評価シートについて、何
かご意見・ご質問はございませんか。

[黒田委員]

スマートフォンアプリ「alko」の取り組みは、どういうものなのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

「alko」は、スマートフォンの万歩計を活用したアプリであり、バーチャルウォーキング大会前の1ヶ月の平均歩数に応じて、参加者を4つのランクに分ける。ランク毎に、大会期間の1ヶ月間で歩いた歩数に応じて、仮想の日本1周の速さを競う大会である。

[宮崎委員]

普段歩いていない人が、歩く機会になったか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ノーマルランクの参加者では30代・40代の人が一番多く、参加者全体の40%になる。全国統計では、この年代のスポーツの取り組み率が低いですが、この大会では逆に、この世代を取り組みやすいスポーツであった。

[長尾会長]

「alko」の登録者は、何人いるのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

この大会の開始前が4,707人であったが、開始時点では、4,747人であったので、若干増えている。

[花井委員]

今後、この大会をどのように発展させていくのか。また、広く市民という観点から、障がい者の参加を把握しているのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

このアプリの主管は保健センターであり、今回の大会はアルコをPRする一つのイベントとしてスポーツ推進課が行いました。アプリの今後の方針としては、保健センターが中心となりワーキンググループで検討していきますが、広い世代で一年を通して取り組めるように、こまき健康いきいきポイント事業と連携していく制度も検討されています。また、アプリに障がい者の登録の項目はありませんので、障がい者の取り組みは把握できません。

[田中委員]

大会の1ヶ月間の取り組みだけでなく、年間を通じて運動を継続する事が大事であると思います。登録はスマホで行うのか、若しくは窓口で行うのか。また、どのように啓蒙されたのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

このアプリの普及方法としては、市民まつりや小牧ロータリークラブの50周年記念事業でのPRやアプリのダウンロードの方法を手助けした他、広報こまきの掲載及び市内のスポーツジム等にチラシを配布して周知しました。

[長尾会長]

チラシを置くだけでは目に届かないので、手に届く積極的な施策があるとより充実

すると思う。この取り組みはとてもよいと思うので、やはり周知が課題と考える。

[宮崎委員]

ウォーキング大会が、小牧南地区と北里地区と桃花台地区であり、小木小では親子ウォーキング大会がありましたので、親子であれば30代・40代の参加も見込めるので、こうした活動でのPRや連携もよいと思う。

[花井委員]

シティマラソン大会の参加者は沢山いるが、今年度は問題点や課題がなかったか。

[事務局] (小牧市体育協会 井上事務局長)

今年は気温が寒くて、融雪対策が課題であった。例年に比べて、幹線道路の通行止めに関することでの苦情は、比較的少なかった。マラソンコースの関係上、現在の約5,500人の参加者数が最大であると考えます。また、小牧市民の参加が50%を切る状況にあるので、市民の参加が増えて欲しい。

[花井委員]

シティマラソン大会は、定員を設ける方向性ですか。

[事務局] (小牧市体育協会 井上事務局長)

10km・5kmは、選手の安全性の観点から定員を設けています。また、参加申込方法としては、初めは体育協会窓口で申し込みを開始しますが、一定期間後はインターネット申し込みとしているので、市民の参加が増えて欲しい。

[長尾会長]

次に、「パークアリーナ小牧を活用した大会等の誘致」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[花井委員]

課題にもあるが、高校総体の駐車場対策は、どんな対策を考えているか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

団体のバスは、パークアリーナ小牧とは別の場所に駐車することを考えている。また、公共交通の利用を広く周知していくとともに、小牧駅からパークアリーナ小牧までのシャトルバスの運行も計画しています。

[舟橋巧委員]

8月に、高校総体としてパークアリーナ小牧を使用するが、通常と比べて空き状況はどの程度変わってくるのか。一般の利用の枠は確保できるのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

パークアリーナ小牧の利用は、市や体育協会の主催事業を第1位として優先順位を設けているが、第2・4土曜日は空けて、市民の利用枠を確保できるように努めている。しかし、来年度のインターハイ開催により市民の利用枠が少なくなってしまう事は事実であるが、市民の方にも広くスポーツに親しんでいただく機会であり、ご理解ご協力をお願いしながら実施していく。

[長尾会長]

最後に、「こども夢・チャレンジカップU-12事業の実施」の点検評価シートについて、何かご意見・ご質問はございませんか。

[長尾会長]

どうしてこの事業を始めたのですか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

パークアリーナ小牧サッカーグラウンドで、ACミランサッカースクール愛知を開校することになり、地域資源の一つとして子どもの夢を応援して行こうとして始まったものです。

[花井委員]

この事業は、優秀な選手の発掘が目的なのか、また、サッカースクールの競技大会の開催が目的なのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

全国からサッカーチームが集まり、人間形成の一環として子どもたちが交流する機会を提供しています。

[宮崎委員]

出場チームの中で、パークアリーナ小牧を利用しているチームは、ACミランサッカースクール愛知ですか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

定期的にスクールを開催しているのは、ACミランサッカースクール愛知だけです。

[舟橋巧委員]

課題に書かれている「5チーム」とはどこか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ACミランサッカースクール愛知、ボカ・ジュニアーズ、サントスFC、コリンチャンス、ACペルージャです。

[田中委員]

今後の取り組みで、「勝敗にこだわらない」とあるが、何か問題があったのか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

出場チームのアンケートの中で、勝敗にこだわる大会であると出場しづらいとの意見があった。

[長尾会長]

それでは、本日の議事はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しします。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

続きまして、次第4の連絡事項について事務局から説明します。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

それでは、「平成30年度社会体育事業実施計画(案)」及び「平成30年度社会体育予算総括表(案)及び主要事業(案)」を一括して説明します。

(資料に基づき概要を説明)

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

何かご質問はありますか。

[花井委員]

小学校のプール開放について、水質管理や監視員は、誰がしますか。

[事務局] (長谷川スポーツ推進係長)

プールは学校設備ですので、学校の先生がプール設備の操作や水質管理を行い、監視員はスポーツ振興会から選ばれたボランティアが行っている。

[宮崎委員]

各スポーツ振興会にミニトランポを各 2 台ずつお渡ししたと説明で聞いたが、何人くらいがミニトランポを活用できるのか。

[事務局] (小牧市体育協会 井上事務局長)

小牧ロータリークラブから、市内の各スポーツ振興会にミニトランポを 2 台ずつ支給したいとの意向がありましたので、体育協会が小牧ロータリークラブから寄附を受け、各地域に配布した経緯があります。ミニトランポを配布しましたが活用されていないので、来年度、市がミニトランポの指導者講習会を開催します。

[宮崎委員]

ミニトランポを使用する対象者は、小牧市民ですか。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

各地域に支給したミニトランポは、各スポーツ振興会のルールに従い、使用していただきます。

[舟橋巧委員]

ミニトランポを活用するために、スポーツ推進委員がミニトランポを指導できるように研修を行う。また、小牧南スポーツクラブでは、通常の使い方以外に、ニュースポーツを取り入れたミニトランポの使い方も考えており、もっと活用できたらと思います。

[事務局] (武市スポーツ推進課長)

ありがとうございました。

最後に、委員の任期ですが、本年 7 月 31 日をもって、委員の任期が満了になりますことを、お伝えいたします。

それでは、以上をもって、平成 29 年度第 1 回小牧市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。